

令和7年度
齋宮歴史博物館 春季企画展



齋王

のよそおい

— 王朝人のファッション are-colle —

4月19日(土)



6月15日(日)



【開館時間】 9:30~17:00(入館は16:30まで)

【休館日】 4月21日(月)、5月7日(水)、12日(月)、19日(月)、
26日(月)、6月2日(月)、9日(月)

※会期中に展示替えを行います。

前期:4月19日(土)~5月18日(日)、後期:5月20日(火)~6月15日(日)

【会場】 齋宮歴史博物館 特別展示室

【観覧料】 一般400円(320円)、大学生:320円(250円)、高校生以下:無料

※常設展観覧の場合は別途観覧料金が必要です。(共通券あり)

※()は団体料金(20名以上)

主催/齋宮歴史博物館 協力/いつきのみや歴史体験館、一般財団法人民族衣裳文化普及協会

上段:三十六歌仙図画帖より中務
下段:冷泉為恭画三十六歌仙図絵巻断簡より齋宮女御に加色



日本遺産 祈る皇女齋王のみやこ 齋宮

齋宮歴史博物館

Saiku Historical Museum

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503
(TEL) 0596-52-3800(FAX) 0596-52-3724
(E-mail) saiku@pref.mie.lg.jp
<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/>



JAPAN CULTURAL EXPO 20

齋王のよそおい - 王朝人のファッション are-colle -

齋王をはじめとする平安時代の人々はそのような服装をしていたのでしょうか？また、それは誰があつらえていたのでしょうか？毎年目まぐるしく変わる現代のファッションのトレンドのように、古代の人々も季節ごとに流行のおしゃれを楽しんだのでしょうか？古代の衣装や装いのための道具類により、当時の人々が「よそおう」ことをどのようにとらえていたかなどについて紹介します。



上段：左から、装束図譜、男神坐像（レプリカ）
 下段：有職装束関係書、大翳（個人蔵）、扇面写経下絵（京都市立芸術大学芸術資料館蔵）
 女房三十六歌仙図屏風、女房装束（復元） ※表示以外は当館蔵

【関連行事】

(1) 学芸員による展示解説会

日時：4月26日(土)、5月10日(土)、5月31日(土)
 いずれも13時30分から14時30分まで（終了時刻は予定）
 会場：齋宮歴史博物館 特別展示室
 参加方法：自由参加（事前申込不要）、当日の企画展の観覧券が必要。

(2) 王朝貴族気分を楽しむワークショップ

- ① **十二単の文様で遊ぼう**
じゅうにひとえ もんよう
 日時：4月26日(土)、5月10日(土)、5月31日(土)
- ② **十二単の色のコーディネートを楽しもう**
じゅうにひとえ
 日時：5月3日(土・祝)、5月17日(土)
- ③ **王朝貴族必須アイテムの櫛扇を作ろう**
ひょうせん
 日時：5月5日(月・祝)、5月24日(土)、6月14日(土)
 ※①②③いずれも10時から15時までの間の自由参加
 会場：齋宮歴史博物館 エントランスホール
 参加方法：自由参加（事前申込不要）、当日の企画展の観覧券が必要。

(3) その他

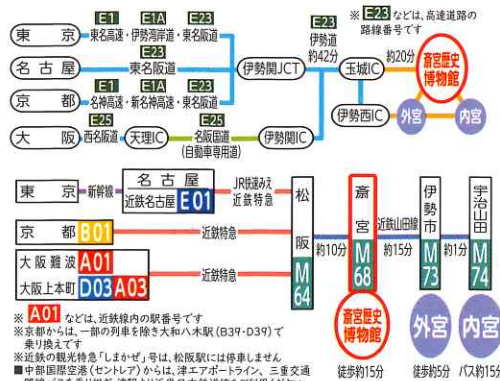
開催期間中、エントランスホールにて王朝装束に関連した展示や一般財団法人民族衣裳文化普及協会との共催によるイベント等も行予定す。

【イベントのお知らせ】

第42回齋王まつり

開催日：6月7日(土)
 会場：三重県多気郡明和町
 齋王の森周辺～さいくう平安の社会場
 主催：齋王まつり実行委員会

詳しくは齋王まつり公式サイト【<https://saioh.jp>】



【開館時間】 9:30~17:00 (※入館は16:30まで)
 【観覧料】 一般:400円(320円)、大学生:320円(250円)、
 高校生以下：無料

※常設展観覧の場合は別途観覧料金が必要です。
 (共通券あり) ※ () は団体料金 (20名以上)



日本遺産 祈る皇女齋王のみやこ 齋宮
齋宮歴史博物館
 Saikyo Historical Museum

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503
 (TEL) 0596-52-3800 (FAX) 0596-52-3724
 (E-mail) saiku@pref.mie.lg.jp
<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/>

